

第 12 回 (2007 年度) 応用物理学会東北支部講演奨励賞受賞者紹介

応用物理学会東北支部
支部長 小池 洋二

本支部では 1996 年から若手支部会員の奨励のために「講演奨励賞」を設け、表彰を始めました。今回の表彰選考では、全講演 84 篇の中から対象となる講演に対して支部講演奨励賞選考委員会において慎重に審査した結果、下記の 4 篇が支部役員会に推薦され、決定されました。本賞が受賞者の方は勿論、今後とも若手の研究奨励に貢献することを期待します。

第 12 回東北支部講演奨励賞受賞者 (敬称略)

講演奨励賞受賞者 (所属)	講演番号	講演題目 (受賞者以外の共著者)
青木 達也 (東北大院工)	6pA7	強磁性トンネル接合におけるナノ秒領域のスピン注入磁化反転電流の低減化 (大兼幹彦, 宮崎照宣, 安藤康夫)
遠藤 一臣 (東北大院工)	7aA7	パッチアンテナ実装型 TUNNETT ダイオードの作製および CW サブ THz 発振特性 (P.Plotka, 眞壁浩樹, 小山裕, 田邊匡生, 須藤建, 西澤潤一)
柳村 提亮 (岩手大院工)	7aB2	カリウム光ポンピング原子磁力計の磁気感度評価 (梅川英之, 棟方甫, 大坊真洋)
高嶋 徳明 (東北学院大工)	7pB8	比例型絶対温度センサの高感度化と薄膜真空センサへの応用 (木村光照)

第 12 回 (2007 年度) 応用物理学会「東北支部講演奨励賞」選考委員

委員長： 小池洋二 (東北大院工)

委員： 淡路智 (東北大金研) 上杉直 (東北工大) 大嶋重利 (山形大院理工) 加藤宏朗 (山形大理工) 加藤雅恒 (東北大院工) 佐藤俊一 (東北大多元研) 藤原巧 (東北大院工) 星宮務 (東北学院大工) 宮崎謙 (東北大院工) 村山明宏 (東北大多元研)

応用物理学会東北支部講演奨励賞規定

- 本規定は社団法人応用物理学会「支部発表奨励賞」共通規定に則り、東北支部が若手支部会員に対して行う表彰に関して定めたものである。
- 本表彰は、本支部の学術講演会において、応用物理学の発展に貢献しうる優秀な一般講演論文を発表した若手会員に対し「東北支部講演奨励賞」を授与し、その功績を称えることを目的とする。
- 表彰対象は本支部の学術講演会で、応用物理学の発展に貢献しうる優秀な一般講演論文 (ポスターセッション論文を含む) を発表した本支部会員であり、かつ本東北支部講演奨励賞をまだ受賞していない者であって、以下の資格を有するものとする。
 - 発表年月日以降の4月1日時点で満28歳以下の者
 - または発表年月日に於いて大学院修士・博士課程学生である者
 - 論文の筆頭著者であること。
 - 登録された登壇者であり、かつ実際に登壇した者
- 論文発表者で、東北支部会員外 (分科会 A 会員, 相互協定を締結した外国学協会の会員, 共催学協会会員, および非会員) の者は表彰対象としない。
- 受賞者はその年の本支部の学術講演会において表彰するとともに、表彰対象者の一覧表を掲示する。
- 受賞者には支部長名の賞状を授与し、記念品を贈呈する。
- 表彰は表彰決定時点における社団法人応用物理学会東北支部長名により行う。
- 支部講演奨励賞委員会は学術講演会において、表彰の対象となる論文を一般講演件数の 5 % 以内を基準として選び、推薦理由を付して役員会に推薦する。
- 役員会は支部講演奨励賞委員会の結果を審議し、受賞者を決定する。
- 役員会は受賞者決定後すみやかに理事会ならびに該当者に通知し、かつ会誌に公示する。
- 本規定は役員会および理事会の承認を経て改定することができる。

付 則

- この規定は1996年6月14日役員会にて決定。
- この規定は1996年9月13日より施行する。
- この規定変更は2002年12月5日より施行する。